

公益社団法人
神奈川県聴覚障害者協会

2021（令和3）年度
事業計画

目 次

2021 年度事業計画	1
(1) 事 務 局	4
(2) 事 業 局	5
(3) 財 務 局	5
(4) 組 織 局	5
(5) 文 化 部	6
(6) 手話対策部	7
(7) 福祉対策部	9
(8) 教 育 部	9
(9) 広 報 部	10
(10) 高 齢 部	11
(11) 女 性 部	11
(12) 体 育 部	11
(13) 青 年 部	12
(14) デフ・ウェイ実行委員会	12
(15) デフ・アドベンチャー実行委員会	13
(16) 神奈川県聴覚障害者グループホーム準備委員会	13

2021 年度 事業計画

1. 聴覚障害者の文化、教養に関する事業

(1) 移動教室の開催

各ブロックの市郡協会と協同して時節に合った事項をテーマとした移動教室を開催し、地域の聴覚障害者の知識を高めていきます。

(2) 教養講座の開催

聴覚障害者の文化の発信、自己啓発および会員同士の円滑な交流の推進を目的に、教養講座を開催します。

(3) 聴覚障害児の手話獲得と健全な育成のための支援

聴覚障害児とその保護者と成人聴覚障害者が一緒にキャンプをしながら交流をすることにより、聴覚障害児が自分の将来について積極的に挑戦するようにするとともに、保護者に聴覚障害者及び手話について理解してもらうために、夏のキャンプ、冬のスキー・スノーボード体験を実施します。

また、夏休み等長期休暇や放課後の聴覚障害児の交流・学習の場づくりとしての放課後ふれあいサロンや聴覚障害児の家庭への支援に取り組むとともに、放課後等デイサービスの実施に向け検討・準備を進めます。

この他、県の事業の神奈川県聴覚障がい児等手話言語獲得支援事業に協力します。

(4) ろう学校などでの手話での絵本の読み聞かせの実施

聴覚障害児の豊かな情操を育てるため、ろう学校を定期的に訪問し、児童生徒たちの前で絵本を手話で表現して物語を理解してもらう絵本の読み聞かせを実施します。

また、これとともに聞こえるの子どもに手話、ろう者についての理解を広めるために、保育園、幼稚園、小学校、図書館や学童保育などでのミニ手話教室、手話での絵本の読み聞かせを実施します。

2. 手話・手話通訳に関する事業

(1) 神奈川県手話言語条例の見直し、手話推進計画の改定に関する取り組み

2021 年度から始まった神奈川県手話言語条例の見直し、手話推進計画の改定作業に対し、積極的に提言していきます。

また、神奈川県手話言語条例及び手話推進計画についての学習会を行い、会員および関係者への周知を図るとともに、市郡協会と一緒に市町村に対して神奈川県手話言語条例の基本理念に沿った施策の実施に向けての働きかけを行います。

(2) 市町村における手話通訳設置・派遣制度の拡充を目指す取り組み

2017 年 4 月から施行された障害者差別解消法における合理的配慮として、市町村役所への手話通訳者の正職員としての設置、市町村の手話通訳派遣制度の拡充を求め、市郡協会と一緒に市町村に対して交渉するとともに、県に対し

ても県の手話通訳制度の改善を求めています。

(3) 市町村の手話奉仕員養成事業、県の手話通訳者養成事業のレベルアップの取り組み

手話言語条例、障害者差別解消法の施行により、手話通訳者の需要が増加することが予想されます。これに 대응するために、市町村の手話奉仕員事業、県の手話通訳者養成事業の内容の拡充、派遣及び手話通訳の派遣についての市町村相互間の連絡調整の確実な実施を要求していきます。

(4) 講習会講師及び講師養成指導者の拡充を目指す取り組み

手話奉仕員・通訳者養成講習会の講師の指導者には、聴覚障害および手話に関する広い知識や高度な手話指導技術をもつことが求められます。彼らの講師養成指導の水準をさらに向上させ、質の高い講師を多く養成するために、全国的な指導者研修等に参加させるとともに、神奈川県手話通訳者協会や神奈川県聴覚障害者福祉センターと協力して研修会などを実施していきます。

3. 聴覚障害者の各種相談に関する事業

(1) 見守り事業による相談ニーズの掘り起こしと対応への取り組み

聴覚障害者は、情報へのアクセス、聞こえる者とのコミュニケーションが困難なことから、一人で問題を抱えながら暮らしていることが少なくありません。特に、高齢になって外出が困難になった方や、聞こえる者の施設に入所している方に多く見られます。

このような人たちのところに行き手話での話し相手になる見守り事業等を通して、相談のニーズを掘り起こし、適切な専門機関と連携しながら問題解決を図っていきます。

それとともに聴覚障害者相談支援事業の充実を要求していきます。

(2) 労働問題の掘り起こしと改善への取り組み

現在でも、職場における聴覚障害者の情報保障が不十分または全くない例が多く、悩みを言い出せずに自分で抱え込んでいる人が大勢います。このような問題を抱えている聴覚障害者が相談しやすい体制を構築し、県、各情報提供施設、ハローワークの担当者と連携して問題を解決していき、聴覚障害者が働きやすい職場環境を作っていきます。

4. 聴覚障害者の福祉に関する啓発事業

(1) 聴覚障害者に対する理解の促進と差別解消の取り組み

聴覚障害者に対する合理的配慮があらゆる場面で行われ、差別を受けることがなくなるように、理解促進と差別解消のための運動に取り組めます。

また、会報「ゆり」やホームページなどを活用して、聴覚障害者、手話、情報保障などに関する情報を積極的に発信していきます。

(2) 県域各市町村の聴覚障害者へ各種制度等必要な情報の提供

国や県の障害者施策に関する情報を、市郡代表者会議、会報「ゆり」やホームページなどを通して、県内各市町村の聴覚障害者に提供していきます。

(3) 高齢聴覚障害者等が安心して生活できる環境づくり

高齢聴覚障害者、重複聴覚障害者及び就学経験のない聴覚障害者など、何らかの理由で支援が必要な聴覚障害者の場合、一般の高齢者の施設に入っても十分なケアを受けることができず、結果として社会から隔離されたまま生活している人が多くいます。

しかし、県内にはそれに対応できる聴覚障害者専門の生活支援施設が一つもないことから、私たちの手で、聴覚障害者専門の生活支援施設を作ることを目指し、地域ろう協会や関係団体と「神奈川県聴覚障害者グループホーム準備委員会」を設立し、活動を行っています。

聴覚障害者専門の生活支援施設の早期実現のために神聴協全体として関係団体と力を合わせて積極的に取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業開始が延期になっている訪問介護事業の今年度中の開始を目指します。

5. 聴覚障害者の職業研修に関する事業

(1) パソコン教室の実施

2021年度もパソコン教室を引き続き実施するとともに内容の充実を図ります。

(2) 理容研修の実施

2021年度も聴覚障害者の理容師の技術研修の支援を行い、レベルアップを図っていきます。

6. 聴覚障害者のスポーツ、レクリエーションに関する事業

(1) 誰でも参加できるレクリエーションの実施

聴覚障害者及び手話学習者の交流の促進と健康維持、そして会員拡大のために、老若男女皆が参加しやすいレクリエーションを企画していきます。

(2) 各種スポーツ大会への参加促進

関東ろう者体育大会および全国ろうあ者体育大会の周知に努め、多くの聴覚障害者のスポーツ愛好家の参加を促進します。

7. 神奈川県聴覚障害者福祉センター内の喫茶室の経営に関する収益事業

(1) 喫茶室の健全な営業の実施

センター利用者の憩いの場として、より多くの来館者及び周辺の住民に利用していただけるよう、さらに運営の工夫をしていき、健全な営業ができるようにしていきます。

(2) 協会運営、運動資金の造成

喫茶室の収益、全日本ろうあ連盟出版物等の販売収益を向上させるとともに、新たな収益活動に取り組み、協会運営及び運動に必要な資金の造成に取り組みます。

8. その他、目的を達成するために必要な事業

(1) 社会福祉法人神奈川聴覚障害者総合福祉協会（神奈川県聴覚障害者福祉センター）との連携強化と事業協力

社会福祉法人神奈川聴覚障害者総合福祉協会（神奈川県聴覚障害者福祉セン

ター)と連携を強化し、県内の聴覚障害者の完全な権利保障の実現にむけて協力して事業の拡充を図っていきます。

(2) 緊急時、災害時の情報保障と支援体制の確立

神奈川県手話通訳者協会と合同で緊急時学習会を開催し、市町村における病气、火事や事故等緊急時の通報、情報保障体制のあり方の検討を進めます。

また、2011年の東日本大震災を契機に設立された、当協会、神奈川県手話通訳者協会、神奈川県手話サークル連絡協議会、神奈川県中途失聴・難聴者協会、神奈川県要約筆記協会、神奈川県ろう者ゆりの会及び社会福祉法人神奈川県聴覚障害者総合福祉協会の7団体で構成される「聴覚障害者災害対策神奈川県域本部」を中心に、県域、市町村における災害時の聴覚障害者への支援体制の確立に取り組んでいきます。

(3) 会員の拡大(一人ぼっちのろうあ者をなくし仲間の輪を広げよう)

少子高齢化社会を迎え、聴覚障害者の数も減っていますが、会員に入っていない聴覚障害者はまだまだ多く存在しています。中には協会の存在、仲間の存在を知らないまま生活をしている聴覚障害者もいます。そういう聴覚障害者に協会、仲間の存在を知らせ、一人でも多く会員に入ってもらい取り組みを進めます。

また、平塚ろう学校同窓会、PTA、親の会などと連携して、将来を担う若いろう者の育成にも取り組みます。

(4) 財政基盤の確立を目指す取り組み

我々の運動の実現および継続をしていくために必要な財政基盤を確立させるため、事業の拡充と寄附金の募集に取り組みます。

(5) 公益法人として健全かつ明朗な運営の実施

公益社団法人としての責務である公益目的事業を実施しつつ、赤字を出さないよう、健全で明朗な運営に努めます。

(6) 神奈川県内3つの聴覚障害者団体の統一化への協力

上部団体の神奈川県聴覚障害者連盟が進めている、県内3団体の統一化に協力していきます。

(7) 感染防止と協会活動の両立

新型コロナウイルスの感染防止を図りつつ、協会の活動を着実に進めていくために、オンラインによる開催などの様々な方策を検討していきます。

事 務 局

<方針>

神奈川県聴覚障害者協会事務局は、川崎市、横浜市を除く神奈川県域の聴覚障害者の権利の保障を実現させるためのろう運動の拠点であるという、その重要性を充分認識した上で、業務および事業が円滑に推進するように職員の効果的な職務分掌及び事務の効率化を図り、事務局としての責任を果たしていきます。

具体的には、次のことに取り組みます。

- (1) 一般社団法人横浜市聴覚障害者協会及び特定非営利活動法人川崎市ろう者協会と連携し、上部団体である一般社団法人神奈川県聴覚障害者連盟の目的達成と事業遂行のために協力するとともに、関東ろう連盟および一般財団法人全日本ろうあ連盟の運動に協力していきます。
- (2) 県と連絡を密にするとともに、神奈川県中途失聴・難聴者協会、神奈川県盲ろう者ゆりの会、神奈川県手話通訳者協会、神奈川県手話サークル連絡協議会、神奈川県要約筆記協会、神奈川県手話通訳問題研究会、社会福祉法人神奈川県聴覚障害者総合福祉協会及び公益財団法人神奈川県身体障害者連合会と連携して運動を進めていきます。
- (3) 各市郡協会と連携して運動を進め、必要な場合は各市郡協会への支援、協力を行います。
- (4) 各専門部・委員会活動をバックアップしていきます。
- (5) ICT の更なる活用を図り、会議や事務の効率化と積極的な情報発信を行います。
- (6) 職員の健康管理に留意し、働きやすい職場の環境整備を図ります。

事業局

<方針>

(1) 出版物の販売普及

出版物販売売り上げアップに、ネット販売を検討していきます。

新しい出版物が発行された場合はチラシを作成し、各市郡協会と地域の手話サークルに宣伝し販売強化を図ります。

(2) GO!デフワールド開催

各方面で活躍しているろう講師に自らの体験や考えを語ってもらい、生きた手話を見てもらうことを目的にしております。

今年は4回開催を予定しており、1回は県域（聴障センター外）で行うことを予定しています。

(3) カナガワ・デフ・ウェイ2021開催

昨年開催予定でした南足柄市で開催します。

市民参加のイベントで聴覚障害者と聞こえる者が交流し、聴覚障害者への理解を広めることを目指しています。

(4) 賀詞交歓会の開催

新年の初めに、当協会関係者があつまり新年のあいさつを交わす場です。

三密を避けての開催を考えていきます。

(5) 手話カレンダー販売

神奈川県聴覚障害者連盟の発行する手話カレンダーを販売することで当協会および各市郡協会へ還元金が入りますので、販売目標を達成するようご協力をお願いいたします。

<計画>

年 月 日	内 容	場 所	備 考
2021年7月4日(日)	Go!デフワールド 22	聴障センター	
2021年9月5日(日)	Go!デフワールド 23	(未定)	

2021年11月7日(日)	Go!デフワールド 24	聴障センター	
2022年1月9日(日)	賀詞交歓会	聴障センター	
2022年2月6日(日)	Go!デフワールド 25	(未定)	

※聴障センター・・・神奈川県聴覚障害者福祉センター（以下、同じ）

財 務 局

<方針>

- (1) 2021 年度会員拡大目標数 400人
市郡協会すべて目標100%達成を目指します。
新型コロナウイルス感染症で減った人数を取り戻します。
- (2) 協会財務活動
事務局と連携し、公益社団法人として信用ある財務処理を行います。
- (3) 喫茶店・自販機
誰もが入りやすく、楽しく過ごしてもらえよう環境を整えていきます。
各部と協力しあって、喫茶店の活用を拡大していきたいと思ひます。

組 織 局

<方針>

- (1) 会員拡大
ろう運動の基本である、学習・要望・仲間づくりを通じて、会員拡大（一人ぼっ
ちのろうあ者をなくし仲間の輪を広げよう）活動をする。
地域のろう者の社会参加、人権擁護、手話普及等のための活動基盤は必要不可
欠です。会員数は最低限、400名以上になるように取り組んでいきます。
- (2) 市郡協会との連携
市郡協会との組織に関する情報交換、および連携をすすめていきます。
- (3) 神聴連組織部、上部団体への協力
上部団体である神奈川県聴覚障害者連盟、関東ろう連盟、全日本ろうあ連盟等の
組織に関する事業への協力をしていきます。

<計画>

年 月 日	内 容	場 所	備 考
2021年7月	市郡情報交換会	聴障センター	
2021年12月	市郡情報交換会（2回目）	聴障センター	
2022年2月	神聴協・バッジ協合同研修会	聴障センター	

・市郡代表者会議で必要な時に組織情報提供・組織に関する相談等を行います。

文 化 部

<方針>

- 会員の文化的資質の向上を目的とした事業を企画します。
移動教室の日程調整にあたっては、ブロックと十分協議します。

文化事業の参加を積極的に呼びかけ、会員拡大に繋がるよう努力します。
感染拡大の場合は、オンラインなどの方法により実施し、できるだけ中止しないようにします。

<計画>

年 月 日	内 容	場 所	備考
2021年4月16日(金)	ブロック代表者移動教室打合せ	聴障センター	
2021年4月17日(土)	各クラブ報告会	聴障センター	
2021年6月19日(土)	文化部・体育部合同バーベキュー会	(未定)	
2022年2月19日(土)	教養講座	聴障センター	

◎カナガワ・デフ・ウェイ 2021、センター祭り、手話フェスティバルに模擬店出店

◎文化部委員会 年間6回開催

◎【移動教室】

年間6回（各ブロック及び理容）開催予定

- ① 湘南ブロック（藤沢・茅ヶ崎・寒川）
- ② 湘南西部ブロック（平塚・中郡）
- ③ 三浦ブロック（鎌倉・逗葉・横須賀・三浦）
- ④ 西湘ブロック（伊勢原・秦野・小田原・足柄上郡）
- ⑤ 県央ブロック（綾瀬・厚木・海老名・座間・大和）
- ⑥ 相模原ブロック（相模原）

◎【文化部クラブ】

★手芸クラブ

・毎月第3土曜日に聴障センターに部員が集まり、自分の好きなものやイベントで出品するバザー品作りを行います。また作品の出展、販売など力を合わせて頑張っています。

・自分のレベルに合わせて学べますので初心者の方も大歓迎です。

★歴史散歩クラブ

・日帰り旅行2回、1泊2日旅行1回開催予定。

★グルメ探訪倶楽部

・年間4回開催予定。

★ハイキングクラブ

・年間4回開催予定。

★雀鷺倶楽部

・毎月木曜日（15回）実施

・年間2回（6、12月）大会を開催する予定。

★釣りクラブ（2021年度は休部）

★パソコンクラブ

・毎月第2・4火曜日午前開催予定。

手話対策部

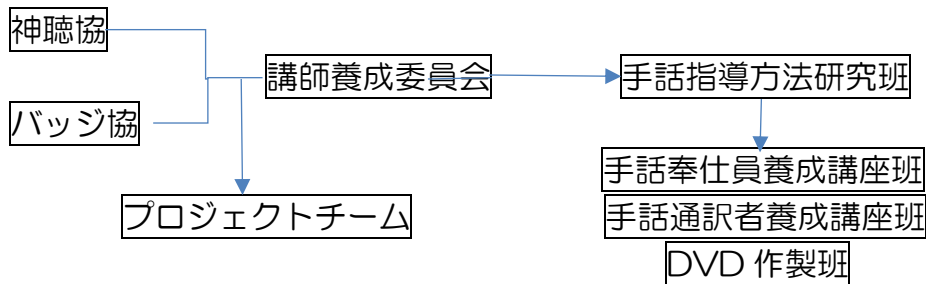
<方針>

（1）上部団体の手話対策部関係行事に積極的に参加し、そこで得た情報を各市郡協会

に広めていきます。

- (2) 手話対策部各種委員会の役割分担を進め、活動の充実を図ります。
- (3) 神奈川県手話通訳者協会と神奈川県聴覚障害者福祉センターの3団体で話し合う場である「神奈川県手話通訳設置派遣制度を考える会」において、手話通訳に関する問題の協議を行い、合同研修会での技術向上を図っていきます。
- (4) 地域の手話講習会で指導を担う講師の技術向上と講師数の拡大を図るために講師養成委員会主催による「講師養成講習会」を開催し、手話奉仕員・手話通訳者養成講習会においてカリキュラムに沿った指導ができるようにしていきます。

【構成図】



- (5) 神奈川県手話通訳者協会と連携して、手話通訳者の技術と意識の向上のための研修会などに協力していきます。
- (6) 神奈川県手話通訳者協会、神奈川県手話サークル連絡協議会の3団体で会員相互の親睦を深めるために年1回交流会を実施します。
- (7) 会員の高齢化により、地域で講師を担う人材が不足している状況に対応するため、将来の講師派遣事業の実施を視野に入れて、プロジェクトチームにおいて講師養成および講習会の運営について検討を進めます。
- (8) 神奈川県手話言語条例の企業従業員向け手話講習会の講師の育成及び研修に取り組んでいきます。
- (9) 昨年度に引き続き、統一試験対策講座を行います。

<計画>

年月日	内容	場所	備考
2021年6月26日(土) または7月3日(土)	神聴協・県サ連 合同懇談会	聴障センター	県サ連共催
2021年5月～11月	手話奉仕員養成講師 講習会(10回)	聴障センター ほか	講師養成委員会
毎月第3水曜午後	手話べり	聴障センター	
2021年夏(未定)	三団体合同交流会 バーベキュー	江の島	バッジ協・ 県サ連共催
2021年8月～11月	統一試験対策講座 (10回)	聴障センター	
2021年11月 ～2022年2月	手話通訳者養成 講師講習会(全7回)	聴障センター ほか	講師養成委員会

- ・手話対策部委員会（随時開催）
- ・三者協力による研修会（神聴協・バuzzi協・聴障センター）
- ・手話ベリ（月1回喫茶室）
- ・プロジェクトチーム⇒講師養成委員会⇒手話指導方法研究班
- ・三者連絡会（神聴協・バuzzi協・県サ連）
- ・新人研修会&合格者研修会（神聴協・バuzzi協・聴障センター）
- ・派遣運営委員会（随時開催：神聴協・バuzzi協・神難聴・神要協・聴障センター）

福祉対策部

<方針>

- (1) 各市町村福祉制度の状況を一覧にしてよい所を参考にし、どの市町村に住んでも大きな差が無いように取り組むための学習会を行います。
- (2) グループホームなどの事業を行う際の条件や基準について、「地域生活拠点を創る」の内容を参考にしながら、特別障害者養護老人ホームの運営者を招いて学習会を行います。

<計画>

年 月 日	内 容	場 所	備 考
2021年6月27日(日)	学習会	聴障センター	
2021年12月19日(日)	学習会	聴障センター	

教 育 部

<方針>

今年度も、ろう学校教職員、ろう児の保護者などと一緒に学習、意見交換を行いながら、諸事業を進めていきます。

まず、ろう児の手話獲得の支援の取り組みとして、ろう児の第一言語である手話で絵本の内容を伝え、ろう児の想像力を高め、読書の楽しさを知ってもらうため、神奈川県内のろう学校に出向き、手話での絵本の読み聞かせを行います。これと併せて、聞こえる子供に手話、ろう者のことを知ってもらい、理解を広めるために、幼稚園、保育園、児童館、公民館、図書館等での手話での絵本の読み聞かせを行います。

また、放課後や夏休み等長期休業の間のろう児・生徒の学習、交流の場として、放課後ふれあいサロンなどを開催するとともに、放課後等デイサービスの実施への取り組みを進めます。

このほか、ろう児の手話獲得の支援、放課後デイサービスなど、ろう教育に関する学習会を開催するとともに、神奈川県聴覚障害者連盟教育部の活動に協力します。

<計画>

年 月 日	内 容	場 所	備 考
年 間	手話での絵本の読み聞かせ	ろう学校、幼稚園、保育園等	
年 間	放課後ふれあいサロン等	平塚市、相模原市、聴	

		障センターほか	
2021年6月(予定)	放課後ふれあいサロンスタッフ研修	聴障センターほか	複数回の予定
2021年11月(予定)	絵本の読み聞かせスタッフ研修	聴障センターほか	複数回の予定

広 報 部

<方針>

(1) 会報ゆり500号記念企画

会報ゆり500号記念企画のためのチームを立ち上げます。メンバーは広報部役員のほか、会報ゆり編集経験者数名等とします。

(2) 『会報ゆり』を魅力ある機関誌に

「読んでもらう人に贈り物を届ける気持ちで記事を書く」「取材先を訪れた時に最初に見たこと、聴いたこと、感じたことをありのままに記事の初めに写生のように書く」「5W1Hを基本として、わかりやすい内容にする」を遵守し、『会報ゆり』を魅力のある機関誌とするように励みます。また、500号発行記念企画として、紙面レイアウトの見直しを検討します。

☆ 5W1HとはWho(だれが)When(いつ)、Where(どこで)、What(なにを)、Why(なぜ)、How(どのように)を指し示す言葉です。

(3) 読者のニーズと情報共有

読者はどんな情報を求めているかというニーズを見極め、読者が「〇〇情報が知りたい」と思うような真に必要な記事を掲載するように努めます。読者(会員)同士が同じ情報を共有することによって、読者(会員)の心がひとつとなり、ろう運動の大きな力になるべく貢献していきます。

(4) 印刷コスト削減と収入(購読料・広告料)

- 500号記念企画として、バックナンバーの電子データ、コピー等の販売
- 1部あたり10ページ程度とします。
- 魅力ある機関誌づくりで購読者拡大を図ります。
- 広告料収入先として、市郡協会と支援団体その他の事業者に募集を図ります。

<計画>

1. 会報ゆり500号記念号発行(2022年2月)
2. バックナンバーの展示と販売(2021年9月)
3. 機関誌『会報ゆり』の発行: 毎月初日発行(年12回発行)
4. 6月上旬 残暑見舞い広告の募集(対象: 各市郡協会、県サ連傘下の手話サークル、バッジ協会)
5. 11月上旬 年賀広告の募集(対象: 各市郡協会、県サ連傘下の手話サークル、バッジ協会)

高 齢 部

<方針>

神聴連の高齢部は、昨年より井上高齢部長として体制がスタートいたしました。

神聴連の毎年の神奈川県ろうあ者大会での決議の「重複聴覚障害者及び高齢聴覚障害者が安心して暮らせる社会を早急実現させよう」を成功させるため会員一人一人話し合い、団結して頑張りましょう。

高齢者は膝が悪くなりがちですので、足を鍛えるためのウォーキングや外出、また、楽しく友達としゃべることも必要ですから、これらの内容を考え、高齢部の行事計画を立てましたので積極的な参加をお待ちいたします。

<計画>

年 月 日	内 容	場 所	備 考
2021年5月18日(火)	健康ウォーキング	秦野市	
2021年9月21日(火)	長寿を祝う会	聴障センター	
2021年11月16日(火)	社会見学	未 定	
2022年1月18日(火)	新春交歓会	聴障センター	

女 性 部

<方針>

女性ならではの優しさで、相手の心に寄り添いながら、若い方から高齢の方まで幅広い年齢層と一緒に楽しく参加できる内容を企画し、開催します。

講演会、茶話会等を通して、女性としてのマナーや心遣いを身に付け、自分磨きをしながら、大切な仲間を増やしていきます。

<計画>

年 月 日	内 容	場 所	備 考
2021年6月17日(木)	手作り体験	未 定	
2021年10月21日(木)	講演会	未 定	
2022年3月10日(木)	ゆり女性茶話会	未 定	

体 育 部

<方針>

各市郡協会に体育部活動を周知し、活動を活性化します。

会員拡大にむけて、老若男女共に楽しむ色々なスポーツを通し交流を推進していきます。

デフ・ウィンター・アドベンチャー、デフ・フットサル教室など、子ども同士や子どもと大人がスポーツを通して交流する場を作り、将来的にはデフスポーツの発展に繋がっていききたいと思います。

<計画>

年 月 日	内 容	場 所	備考
2021年6月19日(土)	文化部・体育部合同バーベキュー会	未 定	

2021年10月(予定)	ソフトバレーまたはバドミントン大会	平塚ろう学校	
2021年12月～ 2022年3月	デフ・フットサル教室	未定	
2022年1月8日(土) ～10日(月)	デフ・ウィンター・アドベンチャー	長野県	

青年部

<方針>

- (1) 神聴連青年部企画・神聴連青年部代議員会開催通知を含めた青年部関連の情報が青年部対象の会員に十分に周知されていないため、加盟団体及び青年会員との連携システムの構築を図ります。
- (2) 青年会員の拡大を目的とし、神聴連青年部また他団体との連携を深める。また青年会員に見合った会費を検討します。
- (3) 聴覚環境や言語環境が異なる、県内に在住する10代～35歳の聴覚障害者がロールモデルに触れ合う場及びコミュニティを作ります(同世代と知り合い、親睦を図れる場。進学・就職・職場環境・出産・子育て等、選択肢に迷ったとき、相談できる同世代・大人に出会える場の提供)。
- (4) 次世代に引き継がれるよう、学生(大学生・高校生)、他団体との交流を行いうる運動の必要性や青年部への参加を促します(同世代の聴覚障害者と一緒に何かに挑戦・取り組む中で成長できる機会の提供)。
- (5) 計画性・継続性のある企画を実施します。

<計画>

神聴連青年部の活動や協力を中心とし、神聴協独自の企画は以下とする。

年月日	内容	場所	備考
2022年2月20日(日)	オセロ会	未定	

※このほか、デフ・アドベンチャー交流プログラム、デフ・ウィンター・アドベンチャー等へ協力予定

デフ・ウェイ実行委員会

<方針>

昨年開催予定でした南足柄市で開催します。

市民参加のイベントで聴覚障害者と聞こえる者が交流し、聴覚障害者への理解を広めることを目指しています。

<計画>

年月日	内容	場所	備考
2021年9月26日(日)	カナガワ・デフ・ウェイ2021	南足柄市	

デフ・アドベンチャー実行委員会

<方針>

ろう児と成人ろう者が一緒にキャンプや自然体験を行うことにより、ろう児と成人ろう者との交流を図り、成人ろう者との交流を通して、ろう児の成長に寄与することを目的とします。これと併せて、ろう児の保護者にろう者のことについて理解してもらいます。

今年度は、ろう学生や手話サークルの聞こえる学生などにもスタッフ協力を呼びかけるなど、若いスタッフを集め、より活動的なキャンプにするとともに、若いろう者に運動について理解してもらいたいと思います。

<計画>

年 月 日	内 容	場 所	備 考
2021年8月7日(土) ～9日(月)(予定)	デフ・アドベンチャー交流プログラム2021	未 定	(助成金申請中)

神奈川県聴覚障害者グループホーム準備委員会

<方針>

2021年度は、昨年度に引き続き、ミニデイサービスを定期的実施していきます。ただ、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、リモートや別の方法での実施も検討します。

巡回ミニデイサービスはこれまでの実績を考慮し、ニーズの多いブロックを中心に巡回サービス、平塚の湘南の和での実施の回数を増やしていきます。

聴覚障害者見守り事業は、引き続き訪問を続けるとともに、必要に応じて聴障センターなどと連携して対象者の支援に繋げていきます。

その他、ミニデイサービスや見守りのスタッフの研修、市民への啓発に取り組みます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業開始が延期になっている訪問介護事業の今年度中の開始を目指すとともに、グループホームの整備に向けての具体的な検討及び準備を行います。

<計画>

年 月 日	内 容	場 所	備 考
2021年4月～2022年3月	ミニデイサービス	聴障センター・湘南の和ほか	
2021年4月～2022年3月	見守り事業	対象者宅及び施設	
2021年6月(予定)	ミニデイサービス スタッフ研修	聴障センターほか	
2021年10月(予定)	見守りスタッフ研修	聴障センターほか	